



# ありんこ便り

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報

2018 年  
10月12日発行  
通巻第 33 号

「ありの会」へのご意見・ご要望は 〒192-0355 八王子市堀之内1236-8 社会福祉法人由木かたくりの会付「ありんこポスト」 まで  
に郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko\_renaku@yahoo.co.jp 》へ。  
ホームページは《 [http://space.geocities.jp/arinko\\_renaku](http://space.geocities.jp/arinko_renaku) 》です。

## 学習会開催

9月3日、この分野では著名な渡部伸先生をお迎えし、南大沢総合センターにて、障害のある人の「親なきあと」をテーマに、障害のある子を持つ親の為に、自分たちがいなくなったあと、今ある法制度やサービスをうまく組み合わせることで、子どもたちが少しでも安心して暮らせるように、最新の情報と実体験をもとにお話しいただきました。

### <主な内容>

#### 1) 抱える3つの課題とその対応

- ・ お金で困らない為の準備をどうするか  
⇒ たくさん残すことより、そのお金が本人の将来の為に、使われる仕組みを準備することが大切。(支出の助成、減免、自立のためのサポート制度、遺言、信託、成年後見制度など)
- ・ 生活の場をどこに確保するか  
⇒ 入所施設、グループホーム、賃貸住宅の場合のお金の仕組みの違いを知る。  
新しい動き (共生型グループホーム、親子が一緒に住める老人ホームなど)
- ・ 日常生活のフォロー 困ったときの支援はどうなるのか。  
⇒ 誰を頼るか日頃から多くの接点をもっておくこと  
今春からの新しいサービス (自立生活援助、就労定着支援)

#### 2) 結論

- ・ 社会との接点を持つ⇒子供のことを話せる相手を見つけておく
- ・ 状況は良くなっている、と気楽に考える。
- ・ 最低限の準備はしておく
- ・ いざとなったら何とかなる！



### <アンケート結果>

#### ① 講演の内容で、今後活かそうなポイント

- ・ 遺言、信託等は今まで触れたことがないものであった。
- ・ 成年後見人の制度の話は、大変興味深く参考になりました。
- ・ 将来の子供の生活がなんとなくイメージ出来た。
- ・ 後見人の事がよくわかりましたし個人年金の事とても心が動きました。全然知りませんでした。
- ・ 任意後見制度を今後自分につけて早め早めの準備をしたいです。
- ・ 他の人とつながっている事の大切さ
- ・ 「社会との接点をもつ」できるだけ多くの人と今のうちに接点をもっておくことを心がけておきたいと思いま

した。

② 親なきあとの生活について、問題あるいは不安に思っていること

- ・生活の場（GH）を地域の中で見つける事ができるか。親なきあとも本人の気持ちに寄り添った支援を受けることができるか。
- ・成年後見を利用する時期について
- ・一切、一言も話が出来ませんので虐待の心配が大変ありますし、貯金なども本人のために活かせるか不安です。
- ・親が遺言書を書いていないので、相続が心配です。口約束だけなので…。
- ・漠然と不安です。兄弟との関係とかお金のこととか。少し見えてきました。
- ・息子は持病（先天性心疾患、てんかん）があるので体調の変化、悪化した場合の医療との連携について。その生活について。（医療ケアの可能なGHの整備等）」

③ 親なきあとの生活について、今後知りたいと思うこと

- ・親がいる間にできること。兄弟の為にできること。
- ・日常生活自立支援事業のことも全然知りませんでしたのでいろいろと福祉のサービスについて知りたいと思いました。
- ・グループホームの生活も含めて自立生活について制度は変わっていくので、その都度情報を知っていききたいと思います。

④ 次回の学習会で取り上げてほしいテーマ、企画してほしいこと

- ・利用できるサービス等が知りたい
- ・私（親）がなき後、おこづかいを持ち何か好きな物を買えるようなサービスがあれば良いと思います。
- ・障害者総合支援法等の障害者に関わる法律のこと。法律も変わっていて、自分だけの勉強では限界があるので、利用できる制度や法を知りたいです。

<最後に>

アンケート結果からも伺えますように大変好評でありました。皆様日頃より不安に思っていたことが、いくらか解消し、少しは勇気づけられたのではないのでしょうか。

また非会員も含め54名の方々から参加申し込みをいただき、41名の方々に参加いただきましたが、総会や事業所説明会に出席されていない方々も多く見受けられ、今後ともありの会の活動にご理解をいただき、より多くの皆様のご参加をお願いします。

尚当日都合により参加できなかった方には、資料にいくらか余裕がありますので、連絡帳ないしはありんこポストを通じてお申し入れ下さい。

学習会に参加して

今年度の学習会は、障がいのある人の「親亡きあと」というテーマで、様々な制度や、新しい形の施設の紹介等、情報を皆で共有し考えることができました。

そして家族と支援者が様々な学びをして準備することとともに、「障がいのある人」本人の親亡きあとの心に関する準備について考えたいとも思いました。

学習会のあと、親御さんを亡くされたご家族の方から「障がいのあるご本人の心のケアのためにも家族での写真や動画を多く残しておいてあげるといいと思います。」と伺いました。

利用者の皆様の、その思いの表現の仕方や周囲の人の関わり方はお一人お一人違うと思います。しかし、障がいがあるからわからないとは思いません。自分たちが亡きあとの息子の心に寄り添ってくださる方が、たくさんいてくださったら有難いと親として思います。そのためにも家族で多くの人と社会とつながりを持っていきたいと思いました。

渡部先生、役員の皆様ありがとうございました。（ワークグループ三島）

# グループホームかたくり 見学会

9月19日（水）今年度の学習会の一環として、グループホームかたくり堀之内、グループホームかたくり長沼の見学会を行いました。長沼の内覧会のあとで見学ご希望が数件寄せられ、今回見学会を企画させていただきました。

当日は秋晴れの中、19名のご参加がありグループホーム管理者の脇坂さんにご案内いただきました。はじめにグループホーム長沼の見学をしました。共有スペースや入居が決まった方々のお部屋には家具や生活用品の準備がはじまっており、これから新しい生活が始まるドキドキやワクワク感が伝わってくるようでした。



グループホーム長沼の写真（左：建物全景、中：見学の様子、右：グループホーム内部）

その後堀之内に移動し、女性棟の見学をさせていただきました。木の温もりとともにやはり皆様の生活されている住まいとしての空間が心地よかったです。それぞれの利用者さんが生活しやすいように職員の皆様やご家族の皆様がされているいろいろな工夫を随所に拝見することができました。

今回かたくりの会に入会されてまだ数年以内の若い利用者さんのご家族も多く参加され、各々グループホームについて気になっていたこと、不安に思っていたことなどいろいろと質問をされていました。先般企画しました講演会とともに、利用者さんの少し先の生活をより具体的に考える機会となったのではないのでしょうか。

今回ご協力いただきました脇坂さん、福田さん、嶋田さん、法人の皆様にご心より感謝申し上げます。



グループホーム堀之内の写真（左：玄関前、中：共有スペース、右：見学の様子）

## 〈ご報告〉

今回生活の場を見学させていただいたお礼として、ありの会より堀之内の利用者の皆様に麦茶を差し入れ致しました。

# 給食の内容及び価格について

会員の皆様から食事の内容及び価格について質問と提案をいただいております。

この件につきまして法人との間で打ち合わせをもたせていただいておりますので中間報告をさせていただきます。

## 1) 会員からの質問に対する回答

### <食事のメニューについて>

- ・内容のバランスと多様性を考え、献立を設計。

基本的に平成 17 年に厚生労働省と農林水産省が作成した「食事バランスガイド」に基づいて食事内容を考えている。献立表が 4 列で構成されているのは、これが理由。

### <カロリー量について>

利用者の平均年齢が 32 歳で、平均 800 キロカロリーが適当（青年期～中年期における 食事摂取基準：推定エネルギー平均必要量に合わせてカロリー量を計算している）。

### <ご飯量について>

ご飯量は個人量を決めている。80 グラムから 250 グラムまで、個人で色々。

個人に合わせて柔軟に対応している。

### <コストについて>

食材原価についてはあと一ヶ月ほどデータを収集したあと、回答したい。

## 2) 今後の検討課題

- ・全体のコストについては聞いているが 500 円のコストの内訳を明確にして欲しい。特に工賃についてはどこまで対象でどの程度まで食費代で充当しているのか。
- ・以前食事代を下げると工賃を下げざるを得ないと言われたが、工賃を下げることは本意ではない。工賃全体の組み立てについて明確にして欲しい。
- ・栄養士さんが入職されて、どう変わったかを会員の皆さんに伝えたらどうか。

# 管理栄養士さんが就任されました

かたくりの会ではグループホームで生活する利用者さんも増えてきています。各家庭での利用者さんの栄養管理は十分にできなくなりますので、かたくりの給食や GH での食事の管理が大切になります。ありの会でも栄養士の配置を強く望み、法人に要望して来ました。この度念願の管理栄養士が就任されましたので、以下に法人からのお知らせを掲載いたします。

\*\*\*\*\*

かねてより現場から強く要望のあった管理栄養士が、由木工房に 5 月より配属されました。関口香織さんです。かたくりに来られる前は特別養護老人ホームや病院、障害者施設等でご活躍されていました。

これまで由木工房食品加工部では、主に調理や配膳に携わる現場の職員が利用者さんの昼食メニューの考案、業者への食材発注、仕入れ、在庫管理を担当していました。ただ、業務は昼食提供だけに限らず、レストラン花畑かたく

りのランチ提供や近隣施設への弁当配達、厨房内の環境整理等全てが同時進行で行われており、特定の職員への負担が生まれやすく、業務分担の調整が日々困難でした。また、昼食メニューを考案する上でも内容のマンネリ化や、きちんとした根拠の元に栄養・健康面について配慮できているのかどうか、日々悩んでいたのも事実です。

関口栄養士に 5.6 月の最初の 2 ヶ月間まず取り組んで頂いたのは、厨房内の衛生管理と整理整頓の指導です。1 日を通して現場に入って頂く時間を設けながら問題点を見つけて頂き、必要なものは買いそろえ、極力すぐに改善するようにしていきました。特に大きな変化が見られたのは、冷蔵庫内の食材管理と整頓、調理用具の殺菌や保管の徹底などです。私もこれには「きれいになってすっきり、どこに何があるかが今までよりも分かりやすくなった」と厨房に入った瞬間感じたものです。また、毎日の検食取り置き（保管）に関しても今まで以上細くなりました。（レストランと昼食提供食材で保管日にちの区別） そのような中で比較的早い段階から、現場の職員からも「専門的な指導をしてもらい、安心した気持ちで日々の業務に携われる」という声がそれぞれから聞かれました。

現場の諸々の調整と並行して、6 月の中旬より、7 月からの昼食メニューを少しずつ考えて頂きました。内容に関しては今まで提供していたものも週に 2 日程度は残しつつ、新しいものも取り入れて関口栄養士のカラーを少しずつ前面に出していくかたちを取りました。上条シェフが作っていた中華料理や炒め物も人気があった為です。そして、管理栄養ソフトも導入し、1 食あたりの原価、カロリー計算や 1 人当たりの摂取適正量を明確に打ち出すのが可能になりました。ちなみに、かたくりの会の利用者さんの平均年齢は 32 歳。（かなり幅はありますが…）厚生労働省が発表している「青年期～中年期における食事摂取基準：推定エネルギー平均必要量」で計算しますと、1 食あたりの必要摂取量は男性 878.8Kcal、女性 660kcal となり、その平均値をとりまして、昼食での摂取カロリーを 800kcal と決めました。また、1 日に「何を」「どれだけ」食べたら良いかを分かりやすく示した H17 年に厚生労働省と農林水産省が決定した食事バランスガイド」に基づき、主食・副菜・主菜・牛乳、乳製品・果物 5 つのグループのバランスをよく考慮して内容を考えるようにしていただきました。



月に 1 度食品加工の現場職員らで「メニュー検討会議」を設けており、関口栄養士が考案したメニューをまずは全員で周知するようにしています。目にした第一印象は、今まで考えもつかなかった華のある感じのメニューが多いこと！そして、和・洋・中のバランスもとれています。ご飯も白米だけでなく混ぜご飯やうどん・そば。汁物は味噌汁・洋風・中華スープの他に玉子やコーン、わかめをつかったものやポタージュ等バリエーションに富みました。また、主菜・副菜ともに味付けにも変化を持たせ、プロバンス風、スペイン風、台湾風、ミラノ風、和風オーロラソース、ラビコットソース etc…。ポーク梅ハニーなんて、ネーミングもお洒落ではありませんか!? 利用者さん達のみならず、各部署の職員達も「どんな味!？」と想像が膨らむのか質問が次々生まれ、昼食時間を通してのコミュニケーションがそれまで以上に増えたのも喜ばしいことです。他にも、今までに引き続き食品加工部の最大ミッションともいえる農園芸部野菜の加工も推進するべく、定期的に『農園野菜メニューの日』を設け積極的に地産地消を図るようにしています。この点においては特に力をいれ続けていきたいと考えております。

今後ですが、関口栄養士には上記に述べました昼食メニュー考案、こまめな在庫のチェックと 1 食単価の原価に合わせた計画的な仕入れ、食堂と厨房内の環境衛生保持指導に重点的に取り組み、少しずつ調理そのものの時間も短縮

し、特に現場職員が効率よく動いていけるよう現場を支えて頂きます。また、年度内を目指して、栄養についての必要事項も明示した新しいメニュー表を作りたいと考えています。「メニュー表を見るのが楽しみになった!」「今よりもっとお昼ごはんが待ち遠しくなった!」と利用者さん、ご家族に思ってもらえるようにしたいですね。

食品加工部で作業に従事している利用者さんと現場職員は「お昼ごはんが楽しみ!」「美味しかったよ!」という皆さんの言葉を励みに、毎日一生懸命取り組んでいます。1 日の中でも心身の健康維持に重きを占めているともいえる昼食ですが、それには自宅やグループホームでの規則正しい生活、食生活も併せてこそ毎日の健康が成り立ちます。日中活動を支えている各部署の現場職員とも連絡を密に取りながら、この場を持ちまして改めてご協力をお願いしたい次第であります。

由木工房就労継続支援B型

事業部責任者 小笠原 八重

\*\*\*\*\*

## かたくりガーデン

今年は早い時期から猛暑でしたが、利用者皆さんのお元気な声とともにガーデンにも色とりどりの花が咲き、例年にも増して活気あふれるかたくりの夏だったのではないのでしょうか。暑い中お世話をしてくださった皆様ありがとうございます。



# ショートステイ施設の要望に対する法人からの回答

かねてより、グループホーム説明会や法人事業計画説明会、総会後意見交換会などの席上にて、会員の皆様からグループホームに併設してショートステイの施設を作って欲しいとの要望がありました。本件につきましては都度、法人より回答いただいておりますが、会員の皆様に法人としての考え方について共有していただくためにも今回書面にて回答いただきました。ご理解をお願いします。

平成30年8月1日

ご家族ご利用者各位

社会福祉法人由木かたくりの会  
理 事 長 炭谷 晃男  
統括管理者 小金測 敏之

## 短期入所事業の要望に対する考え方と今後の可能性について

標記の件について、家族会役員様より書面にて説明してほしいとの依頼があり、回答致します。新規 GH 説明会及び家族会総会後の意見交換時にすでにお答えしている内容となります。短期入所の実施について、ご要望があることは十分承知している所です。しかし、以下の理由で現段階では検討しておりません。

### ① 慣れた職員に見てもらいたい

標記のご意見が多数あったかと思います。慣れた職員が入ることは、ご家族ご利用者の立場からすると、“安心”という気持ちがあるかと思います。一方で慣れた通所の職員が、例えば夜勤に入るとします。労基法上、その職員は通所での勤務を 2 日間休ませねばなりません。また生活介護の利用者が短期入所を利用した場合に、慣れた生活介護の職員が必ず配置されとは限りません。例えばぶらさ de かたくりの職員が入ることもあります。安心という気持ちは大切ですが、慣れた職員とは何か、整理が必要です。

### ② 職員の意識とスキルと支援体制

かたくりは通所ベースで展開してきた法人です。一昨年から GH 職員と兼務という形で、法人全体で支えるという意識に切り替えているところです。GH 以外の部署でも、GH での生活を支えていくという職員意識の成熟が必要です。さらに、この 10 月から 2 ユニット増設され、しっかり職員が入って回していく支援体制を確立していくことを、まず最優先にしているところです。最終的には GH の職員だけでまわしていく、日中活動と生活の場面をしっかりと分けていくことを目指しています。

### ③ 経営的な判断

短期入所を実施する場合、高い稼働率が求められます。赤字の運営は避けなければなりません。

以上、あくまで、現時点での見解である事をご理解ください。縁あって、関係のできた、けやきの杜様との比較が多くされているようです。学んで行くべきことは多々あります。しかし国分寺は大きな法人が少なく、けやきの杜で多くの事業を担わざる負えなかった事情があることをご理解ください。

由木かたくりの会もまだ全ての支援機能を有しているわけではありません。足らざる点については、他の法人の事業を利用することはご利用者にとっても、よりメリハリのある生活、より豊かな生活に繋がるのではないのでしょうか。

以上

尚、今回をもって、短期入所についての回答は終了とさせていただきます。ご理解をお願いいたします。

# 「フェスタかたかご」ご案内

今年も11月10日（土）に「フェスタかたかご」が予定されております。例年12：00からの開催でしたが本年度は11：00からの開催となります。昨年同様ありの会では、焼きそば、フランク、飲み物の販売や、バザー、そして後援会さまと共同で釣りゲームなどの出し物を行います。皆様ふるってご参加ください。また、例年通り当日のお手伝いも別途大募集いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします

なお、法人からも別途連絡がありますが、今年度は諸般の事情により駐車スペースが極端に少なくなります。当日の来場には公共交通機関をご利用ください。



写真は昨年のフェスタかたかごの様子。

## お知らせ

### ◎ 利用者さんの異動

退会 5月31日付 N Kさん かたくりの家B型 ベーカリー  
9月18日付 W Sさん かたくりの家B型 ベーカリー

異動 7月1日付 I Rさん ぷらさ・de・かたくりから由木工房生活介護へ  
7月1日付 N Hさん 由木工房B型喫茶からぷらさ・de・かたくりへ

### ◎ ワーキング・グループ（WG）より

「ありの会」の設立と共に2011年4月にホームページを立ち上げ、これまで少しずつ内容を追加して来ました。しかし、昨年の夏ごろに利用している「無料のYahoo ホームページサービス」の容量が満杯になり、新規の更新が出来なくなりました。これまでいろいろ対策を検討していましたが、内容を整理し「役員会の議事録」と「ありんこ便りのバックナンバー」に絞って最低限の情報公開を維持して、ホームページを継続する事としました。

ホームページの「ありんこ Home」はすでにリニューアルされ最新の情報が掲載されています。URLはこの「ありんこ便り」の最初のページで題字の下に記載しています。役員会の議事録を閲覧する際のパスワードをお忘れの方は役員の方へお問い合わせ下さい。

WG ではホームページ以外にも会員相互の情報共有、親睦を深めるためのツールとして携帯・スマホでも使用できるアプリを役員の方々と試験運用しています。



### ◎ 「かたくり生產品」の販売協力

「かたくり通信」では各部署の活動の様子とともに、時期に合わせた野菜収穫や新作及び限定の製品、メニュー等の情報が掲載されております。7月31日号では販売イベントの表も掲載されております。毎号各部署の利用者の皆様の頑張っておられる姿や職員の皆様のご尽力が伝わってきますね。ありの会としてはこれらに協力するため法人とも協議し、会員の皆さまへ提案して行こうと思います。その際には是非ともご協力ください。